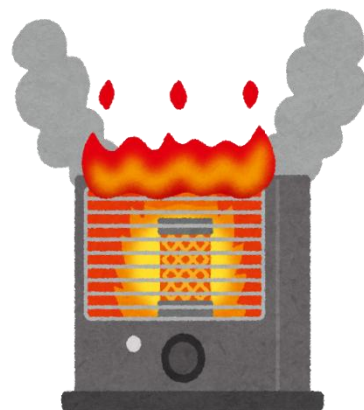


ストーブ火災に注意！

身近なところで使用しているストーブなどの暖房機器も
誤った使い方をすると火災の原因となってしまいます。
正しい使い方を守って使用することが必要です。
石油ストーブだけでなく、電気ストーブによる火災も
増加傾向にあります。



「ストーブ火災を防ぐポイント共通事項」

1. 洗濯物や燃えやすいものを近くに置かない！

ストーブの周りは、整理整頓！

ストーブに洗濯物が落下し、出火することがあります。



2. 寝るときは必ずストーブのスイッチを切りましょう！

ストーブをつけたまま寝ると、寝返りをうった際などに

ストーブに布団が接触し、出火する恐れがあります。



「石油ストーブ火災を防ぐポイント」

1. カートリッジ式油タンクはキャップを締め、 消火してからセットする！

カートリッジ式油タンクに給油した際は、キャップが

締まっているかを確認し、必ず消火してから本体にセットしましょう。



2. 灯油とガソリンを間違えない！

燃料を間違えないように専用の容器に入れ、

表示をするなどの工夫をしましょう。

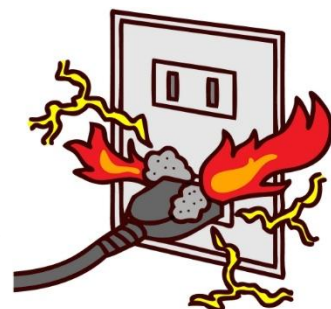


「電気ストーブ火災を防ぐポイント」

1. 使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差したままにすると、ホコリが溜まって

湿気を帯びると火災の原因になります。こまめに清掃しましょう。



2. 配線の傷んだ電気機器は使用しない

配線の傷んだ電気機器を使用すると、傷んだ配線に熱が

溜まって火災の原因になります。配線の傷んだ電気機器は

交換しましょう。

